

- 02 特集1 狂言師 野村万作 インタビュー
- 03 特集2 作家 山崎ナオコーラ インタビュー
- 04.05 4月～6月 イベントインフォメーション
- 06 4月～6月の主催事業ピックアップ
- 07 カルレク! ～気軽に楽しむ文化のレクチャー～
- 08 ぐるり となりのカルチャー

八十六歳の 狂言道

人間国宝・野村万作インタビュー



狂言師 野村万作

インタビュー

2018年度最初の三重県生涯学習センターの講演会は、人間国宝 狂言師・野村万作さんをお招きし、その生き方や狂言について、そして伝統を次代につなげていくことをテーマにお話いただきます。講演会に先駆けて、狂言師としての歩みをお伺いしました。



狂言「楽焼」太郎冠者・野村万作 (撮影・政川慎治)

—「狂言」とはどんな芸能ですか？

日本の伝統的な演劇、室町時代の普通の劇と考えたらいいですね。内容は喜劇的なものを中心で、次の日の生活の糧になるような「笑い」が多いです。ただ、能と一緒に育ったから、様式とか型とか約束事があり、敷居が高いと思われることがよくあります。しかし、狂言は現実的な生活感のある芝居です。台詞と仕草で、日常生活の人間の色んな感情を描く普通の劇。分かりやすいはずですよ。

—狂言師になる覚悟を決められたのは、いつ頃ですか？

狂言の家に生まれましたから、子どもの時は無理矢理やらされますよね。でもご褒美がもらえるので、一生懸命まずおじいさんに習いました。父に習うようになって稽古が厳しくなると、「あんまりやりたくないな」という時期もありました。旧制の中学校、終戦後すぐの頃です。友達の影響もあって、父が見せてくれなかった歌舞伎や芝居、映画を見て歩きました。軽演劇という、浅草辺りでやっていた芝居もね。今(その当時)の人が見て分かる、楽しく見られる芝居に初めは魅力を感じましたが、段々と古典の方に興味が出ていきました。

狂言は話が単純で、役者の演技力で表現していく面が非常に強い。自分の演技力ですべてのことを表すのは、厳しきでもあり魅力でもある。「狂言はやり甲斐があるものなんだ」と思うようになりました。父に「やっぱり狂言をやりたい」と言ってからは、一生懸命に習いました。

—それで、大学1年生の時に、ご自身で狂言の研究会をつくられたのですか？

「狂言師になる」という宣言です。3、4人の仲間を教えることから始めて、学園祭で狂言を演じることをしだしたんですね。

—大変な行動力です。ご自身で研究会をつくるなんて自由な印象を受けますが…

狂言があまり隆盛じゃなく疲弊していた時期ですので、父も厳しくは育てたけれども、自由を与えてくれていました。私の家は戦災にあい、家が焼けてしまった。そのショックが父にもありましたし、自信喪失の時期があったのではないのでしょうか。だからこの頃からは、自分で積極的に動きました。

—狂言が「今」のように隆盛になった流れと、万作さんの狂言の人生の歩みが重なっているように感じます。

戦後に若手だった人が、みんな一緒に努力したんです。僕のやったことでいえば「伝統芸術の会」です。新劇も歌舞伎も能狂言の人も、研究者も作家も参加して、色んな人が演劇を中心に「伝統」というものを考えよう、見直そうという組織でした。新しい実験がこの会から生まれていった。色んな方と交流するなかで狂言を見直し、今に通じるものだと自信を持つようになった。それが日本でのこと。もう一つは、海外で公演し、その反響から自信を持てたことです。

—今まで世界各地で公演されていますが、狂言師を志した頃、このような未来は想像できましたか？

いいえ。ずっと「狂言の地位の向上を」と考えていました。父に偉くなってもらうことによって、狂言の再評価をしてもらいたいと思っていました。僕は父を師匠としてすごく尊敬しておりました。人からは「父離れの遅いやつだ」なんて言われました。父の芸をある意味で離れて「自分」ということを考えるようになったのは、この頃やっつです。父が79歳で亡くなったので、その年齢を越したあたりから少し父離れをした感じです。

牛追いをする太郎冠者が主役の「木六駄」という狂言があります。雪の中、12頭の牛を追う場面は一種のマユです。父がやると「12頭の牛が見えた」とか「大雪が降っている景色が感じられた」とか言われてね。狂言研究家で今最長老の方が、「いや～万作さんの木六駄の方がもうお父さんの上をいっているよ」ってお世辞を言ってくると、嬉しくないことはないですね(笑)。目標にしてきているわけなので。



—万作さんは大曲「釣狐」の挑戦を続けていらした。「狐役者」と言われるほどです。「釣狐」への思いをお聞かせください。

8月に国立能楽堂で「釣狐」をやります。装束(衣装)を着て面をつけてはもうできないのですが、紋付袴でやる素の演式で。これから体を準備していかなきやいけない。「釣狐」は飛んだり跳ねたりという動きに技術的な鋭さが必要な演目です。長年「釣狐」を追っかけて一生懸命掘り下げてやってきましたので、究極は衣装などなくても狐になれるという自負はある。だからこそ引き受けました。このままでも顔は多分狐に見えるであろうと信じています。自分の体の中に狐が入り込んでくるほど執着しておりました。

—他の演目はいかがですか？

狂言は、太郎冠者という庶民的な家来の役に代表されるように、普通の人間の普通の感情を表しているところが多いので、「普通の人間をいちばん上手にやりたい」思いも強く持っています。一つひとつの役を好きになって、愛して、優しく役に入り込んで、それを見ている方に優しく訴えかける。優しさの演技とでもいいでしょうか。そういうものを大事にしくちやいけなと思っています。

—ご子息・萬斎さんのご活躍も多方面にわたっておられます。万作さんに似ていらっしゃいますね。

萬斎は本当に多方面ですから、僕の若い時代と段違いです。僕は新しい試みといっても現代劇ぐらい。一度だけコマーシャルに出たけれど(笑)。

—その「違いのわかる男」のCMは、当時大変な反響だったそうですね。

萬斎はテレビも映画もみんなやっていますよ。狂言に興味を持つ人が増えて功績もあると思います。「新しいことをやるのは大いにやっていいけれども、古典狂言はあんまり演出しないでくれ」とは言っています。よくできているものは、なるべく素直に伝えていきたい。狂言はなんといっても、軽みと飄逸(ひょういつ)みっていうのかな。大切にしてほしいところです。

—三重県の印象についてお聞かせください。

ついこの間、猿田彦神社で「福の神」という狂言をやってきました。伊勢神宮にも行って、いい記念になりました。「宮めぐり」という狂言があります。お伊勢参りがテーマで、内宮外宮、色んなところを見て歩き、最後には神楽を奉納して伊勢のお土産をもらって帰るとお話です。昨年、この曲を復曲・演出してやりました。五十鈴川や外宮の表現など色々工夫しました。ぜひ、伊勢で「宮めぐり」をやりたいなと思っています。

(インタビュー・文／阿萬杏子)

【野村万作プロフィール】

1931年生。狂言師。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、多数の受賞歴を持つ。

イベントインフォメーション

4/30 [月・休] **中ホール** **三重のまなび2018 狂言師・野村万作 講演会 「人間国宝が語る86歳の狂言道」**
聞き手 林 和利(狂言研究者・文学博士)

13:30開講(12:45開場) ※手話通訳サービスあり
事前申込制・先着順 全席自由 500円 ※当日お支払いください。
〒三重県生涯学習センター 059-233-1151
※申込状況により受付を終了している場合があります。ご了承ください。





「フレンテみえ」の

知って得する

シリーズ

みなさんが考える「らしさ」ってなんですか？

フレンテみえでは、男らしさ・女らしさといった決められた性別の「枠」とらわれず、様々な個性を持った皆さんの自分らしく前向きな生き方を応援しています。そんなフレンテみえが、最新エッセイ『母ではなくて、親になる』で「みんなが生きやすい社会になればいいな」と語る作家・山崎ナオコーラさんから、なぜそういった思いを持つに至ったのかお話を伺いました。山崎ナオコーラさんが語る、世の中の「性別のイメージ」に縛られない自分らしさとは…？

作家 山崎ナオコーラインタビュー

性別にこだわらずに仕事をしたい

——幼少期のナオコーラさんはどのような子どもでしたか？

私はとても人見知りしがはげしく、おとなしい子どもでした。また、レースやリボン、赤やピンク色が好きで、いわゆる「女の子らしい」好みを持っていました。エプロンドレスのようなワンピースを着せてもらったときに、すごく嬉しかった記憶があります。大人になっても、「かわいいものが好き」というのは変わっていません。

現在、私は「性別にこだわらずに仕事をしたい」と思い、作家として「性別非公表(笑)」で活動しています(まあ、だいたい推察されてしまうのですが、一応、『自分からは性別を言わない』と決めております)。そうしていると、「男性っぽい性格」「男性になりたがっている」という風に誤解されてしまうときもあるのですが、私は男性になりたいわけではありません。「活発」「男勝り」「スポーティな服が好き」とは真逆の、手芸が好きで内向的な性格ながら、「女らしさにこだわらずに社会参加しよう」と思っています。

——それは何かきっかけがあったのでしょうか？

どうしてそう思うようになったのか。

私としましては、生まれつきだと感じています。女性脳だとか、男性脳だとかといった言葉もありますが、そういったことに関係なく、私の場合は、「社会的な活動の際には、性別にこだわりたくない」という性格に生まれついたのだと感じています。

他の時代に生まれていれば、私みたいな性格でも、社会に合わせて、自分の体の性別に合わせた社会活動しかできなかったでしょうが、今の時代は優しい人が多いので、言いたいことを言えて、わりと自由にやらせてもらえています。この先は、もっと自由になるのかもしれないね。

私自身の子ども時代の家を思い出してみます。

父は真面目な銀行員、母は朗らかな専業主婦で、父も母も「その時代の性別イメージ」に素直にはまっていたようです。それなのに、私に対して、「女の子らしくしなさい」はもちろん、「将来に結婚するために……」だの「大きくなったら母親になるのだから……」だのといった類のセリフはひと

ことも発しませんでした。十代の頃からおかしいこと(おそらく、親からしたら、「なんだそれ」と呆れるような、性別に対する反発心)を私が言い出しても、驚きはしても矯正しようとはしませんでした。進学、就職、離職、作家デビュー、結婚、など、一度も親から意見を聞いたことがありません。

今、深い感謝が湧いてきます。私に対して、「自分とは違う時代を生きる、別の人間」と思いながら、育ててくれたのではないのでしょうか。

もっと、人を信用したい。違っても好き合える、と信じたい

——エッセイ『母ではなくて、親になる』はいわゆる「育児書」ではないので、育児にかかわっていない人にも読んでもらいたい、とお聞きしましたがそこに込めた想いとは何ですか？

私は出産を遅い年齢で行ったので、「友人たちに子どもがいて、自分には子どもがない」という時期が長く、そのとき、友人たちが私に遠慮して育児の話題をセーブしてくれているのを感じました。私としては歯がゆく、「もっと、子どもの話をしてくれていいのになあ」と思っていました。自分の場合、流産直後や、妊活中も、他人の子ども話を聞くのは面白かったです。芸能人のブログやインスタなどでも、自分の局面とは切り離して、子どもの笑い話など、楽しんでいました。世間で言われるほど、「同じ境遇の者同士でしか、仲良くなれない」ということはないのでは、と私は考えています。また、女性と男性とで育児の話をする、対立的になりがちですが、それも変えたいです。

人間と人間なのだから、似た境遇で同じ性別として生きて違う考えを持つことがほとんどで、違う考えでも話せば「理解はできないけれど、面白いね」ということは多いです。もちろん、違う境遇で生きていて理解のない人、別の意見を持っている人と話すと、傷つくことや面倒もたくさんあります。けれども、壁を感じるところにこそ、コミュニケーションの醍醐味があるのではないのでしょうか？

私自身、今は育児中ですが、ひとり暮らしを謳歌している友人ともお喋りは今でも面白いです。海外旅行の話、おしゃれなインテリアの話など、もっと聞きたいです(私自身は海外旅行にめっきり行かなくなり、部屋はめちゃくちゃ



です)。書店に行っても、「大人の女性のひとり暮らし」というような本を見かけると、「素敵だなあ」と、つい買ってしまいます。

人は、自分に似た人の話ばかりを聞きたいわけではありません。もっと、人を信用したい。違っても好き合える、と信じたいと思います。

——ご執筆されるうえで、心がけていることや大切にしている視点などはどのようなことですか？

遠くの人を大事にしよう。家族などの身近な人以上に、遠くの人に心を開こう、そのために本を作っているのだから、と思っています。



【山崎ナオコーラ プロフィール】

エッセイスト・小説家。1978年福岡県生まれ。卒業論文は『源氏物語』浮舟論。2004年に『人のセックスを笑うな』でデビュー。著書に、小説『美しい距離』(文藝春秋)、エッセイ『母ではなくて、親になる』(河出書房新社)、絵本『かわいいおとうさん』(絵 ささめやゆき)(こぐま社)など。目標は、「誰にでもわかる言葉で、誰にも書けない文章を書きたい」。

「らしさ」の呪い



- 力が強い ●弱音をはかない ●おしゃれ ●気配りができる
- たくさん働く ●背が高い ●家庭的で料理が好き
- スポーツができる ●華奢なイメージ
- リーダーシップがある ●おしとやか ●子育てをする

こんなことを言われたり感じたりしたことはありませんか？
自分がその「男らしさ」や「女らしさ」に憧れたり大切に思うことは悪いことではありません。

でも…



って言われて
実はしんどい人も…

フレンティからのメッセージ

自分がイイ!と感じている「らしさ」が、時にまわりの人を苦しくさせているとしたら? また自分がイヤだ!と感じる「らしさ」は、まわりの人には当たり前かもしれません。その当たり前!と感じる「らしさ」がだれかを苦しめる…まさに「らしさ」の呪いですね。

ちょっと立ち止まって考えてみてください。自分の当たり前をまわりのだれかに押しついたり、自分自身を「こうあらねばならない」と縛りつけていませんか?

だれもがいろいろな「個性」を持っています。それは『男性だから』とか『女性だから』と、性別だけでまとめられるものではありません。わたしたちのまわりには『男性』『女性』だけでなく、仕事や家族の中の立場などによって、いろいろな役割の「らしさ」であふれています。でも、そんな役割の「らしさ」ではなく「その人らしさ」で、自分のこともまわりのことも見てみませんか。



フレンティ
三重県男女共同参画センター
「フレンテみえ」のキャラクター

Event Information

三重県総合文化センターイベントインフォメーション

4月のイベント情報

1 [日]	第21回 津高吹奏楽演奏会 14:00開演(13:30開場) 全席自由 500円 ☎津高吹奏楽部 059-228-0256(八丈)	大 ホール
1 [日]	野村敦子バレエ教室 第25回発表会 15:30開演(15:00開場) 予定 入場無料 ☎野村敦子バレエ教室 059-255-3495	中 ホール
4~8 [水]~[日]	第36回 泉会日本画展 9:30~17:00(最終日は9:30~16:00) 入場無料 ☎泉会 059-232-2680	1 ギャラリー
4~8 [水]~[日]	第46回 三重県彫刻会彫刻展 9:30~16:30(最終日は9:30~16:00) 入場無料 ☎三重県彫刻会 090-8867-8130(西山)	2 ギャラリー
5 [木]	津東高校吹奏楽部 第22回定期演奏会 18:00開演(17:30開場) 全席自由 500円 ☎津東高校吹奏楽部 059-227-0166(堀内・古賀) ※平日のみ	大 ホール
7 [土]	KAZUYOSHI SAITO LIVE TOUR 2018 "Toys Blood Music" 復 17:00開演(16:30開場) 全席指定 6,800円、立見指定6,300円 ☎(株)ジェイルハウス 052-936-6041	大 ホール
7 [土]	穂吉敏子ジャズピアノコンサート 往復 主催 18:30開演(18:00開場) 全席指定 4,000円 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小 ホール
11 [水]	小林幸子コンサート 復 15:00開演(14:30開場) 予定 全席指定 PS席 8,500円(前売のみ)、SS席 6,800円(当日8,000円)、S席5,500円(当日7,000円) ※税別 ☎(株)夢グループ 0570-064-724	大 ホール
14 [土]	miwa acoustic live tour 2018 "acoguisimo 4" 復 17:00開演(16:00開場) 全席指定 5,400円 ☎サンデーフォークプロモーション 052-320-9100	大 ホール
14 [土]	平成30年「県民の日」記念事業 防災サイエンスショー 講師:阿部清人さん ~楽しく科学~伝える防災~災害のメカニズムを科学実験してみよう! 13:00開演(12:30開場) 予定 入場無料 ※要事前申込 ☎三重県防災対策部 防災対策総務課 059-224-2181	多目的 ホール
15 [日]	創立50周年記念 津児童合唱団 第50回定期演奏会 ~子どものための合唱オペラ「阿漕の海の物語」池辺晋一郎作曲 初演~ 16:00開演(15:30開場) 全席自由 500円 ☎津児童合唱団 059-225-8878(川合)	大 ホール
21 [土]	20周年記念 ひぐらしハーモニカ教室合同発表会 皆様のおかげで20周年! 感謝の気持ちで演奏します。 12:30開演(12:00開場) 入場無料 ☎ひぐらしハーモニカ教室 090-7030-7096(今井)	小 ホール
22 [日]	みえ音楽コンクール 入賞者記念演奏会 vol.19 主催 14:00開演(13:30開場) 全席自由 1,000円 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
22 [日]	第52回 伊勢津民謡会 民謡唄まつり 10:00開演(9:30開場) 入場無料 ☎伊勢津民謡会 059-234-2515(吉川)	中 ホール
29 [日・祝]	モーニング娘。誕生20周年記念コンサートツアー2018春 復 【1回目】15:00開演(14:00開場) 【2回目】18:30開演(17:30開場) 全席指定 一般席7,500円、ファミリー席7,500円 ☎サンデーフォークプロモーション 052-320-9100	大 ホール

29 [日・祝]	第40回 スズキ・メソード美和音楽教室ピアノコンサート 13:30開演(13:00開場) 予定 入場無料 ☎才能教育スズキ・メソード美和音楽教室 059-227-7052	小 ホール
29 [日・祝]	第5回 あいピアノ教室発表会 13:30開演(13:00開場) 入場無料 ☎あいピアノ教室 059-233-2258(森川)	多目的 ホール
30 [月・休]	三重のまなび2018 狂言師・野村万作 講演会「人間国宝が語る86歳の狂言道」 復 主催 13:30開演(12:45開場) 全席自由 500円 ※事前申込制・先着順 ☎三重県生涯学習センター 059-233-1151	中 ホール

5月のイベント情報

4 [金・祝]	三重のまなび2018 楽楽浪曲塾 ~浪曲の世界へようこそ~ 主催 13:30~15:30(13:00開場) 全席自由 500円 ※事前申込制・先着順 ☎三重県生涯学習センター 059-233-1151	小 ホール
5 [土・祝]	第14回 エイムミュージックライブコンサート 12:00開演(11:30開場) 全席自由 500円 ☎エイムミュージック 080-3061-9172(赤井)	小 ホール
5 [土・祝]	子どもの貧困と地域の役割を対話で考えるフォーラム 私たちが子ども達へ! 地域から地球へ! 10:00開演(9:30開場) 全席自由 2,000円 ☎(特非)世界SHIENこども学校のびすく 059-253-3130(松井)	多目的 ホール
6 [日]	ピティナ津支部 30周年記念 継続表彰者ピアノフェスティバル 13:30開演(13:00開場) 入場無料 ☎(一社)全日本ピアノ指導者協会 津支部 059-226-5319	中 ホール
6 [日]	親睦ダンスパーティ 13:00~16:00 参加費 1,000円 ☎サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	多目的 ホール
12 [土]	みえ看護フェスタ2018「伝えたい。看護の力・看護の魅力」 13:00開演 入場無料 ☎(公社)三重県看護協会 三重県ナースセンター 059-222-0466(古田)	多目的 ホール
13 [日]	第29回 三重バツハ合唱団演奏会 14:00開演(13:30開場) 全席自由 一般2,000円(当日2,500円)、学生1,000円(当日1,500円) ☎三重バツハ合唱団 059-386-5301(玉崎)	大 ホール
13 [日]	雅楽倶楽部「雅」 第三回雅楽演奏会 子供たちとともに 13:30開演(13:00開場) 全席自由 500円 ☎雅楽倶楽部「雅」 059-229-1318(黒部)	中 ホール
13 [日]	WANDERER2018 エアロ&ダンス三昧の一日をお楽しみください 10:00開演(9:15開場) 全席自由 6,000円 ☎Amuse 080-4303-3487 amusepresents@yahoo.co.jp(平井)	多目的 ホール
16 [水]	ワンコインコンサートvol.87 ミュージカル 未来優希&穂乃ゆい 往復 主催 11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円(チケットレス) ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
17 [木]	Makihara Noriyuki Concert 2018 "TIME TRAVELING TOUR" 1st Season 復 18:30開演(18:00開場) 全席指定 7,800円 ☎サンデーフォークプロモーション 052-320-9100	大 ホール
19 [土]	琴伝流大正琴 第27回 中京大会 10:00開演(9:30開場) 入場無料 ☎琴伝流大正琴全国普及会東海本部 052-321-4525	大 ホール
19 [土]	五月晴れコンサート2018 田中宏子ピアノコンサート feat.手数王 菅沼孝三 16:00開演(15:30開場) 全席自由 5,000円、5歳まで2,500円 ☎タナカミュージックオフィス 059-256-7704	小 ホール

「ランチタイム」に「1時間」「500円」で楽しむカジュアルコンサート

ワンコインコンサート 年間ラインナップ

全席自由 チケットレス 大ホール 往復 主催

11:30開演(10:45開場) ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122 共催:レディオキューブFM三重 ※満席となった場合はご入場いただけませんので、あらかじめご了承ください。



vol.87 5/16 [水]		ザ・エンターテインメント・ショー! ミュージカル 未来優希&穂乃ゆい
vol.88 6/14 [木]	©Yuji_Hori	ピアノの探求者が奏でる癒しの音色 ピアノ 三浦友理枝
vol.89 7/4 [水]	©R.ARATANI	欧州からの逆輸入マリンピスト マリンバ 出田りあ
vol.90 8/22 [水]		日本管打1位、新星のユーフォニアム奏者 ユーフォニアム 佐藤采香
vol.91 9/14 [金]		東響が誇る若き才知の魅力 オーボエ 荒木奏美
vol.92 10/4 [木]		昭和→平成へ心の扉を開く、双子デュオ ソプラノデュオ 山田姉妹
vol.93 11/14 [水]		大阪国際室内楽コンクール第2部門優勝! サクソカルテット クワチュオール・ザイール
vol.94 12/5 [水]	©vintermyk	太古から伝わる奇跡の贈り物 ヨイク(ラップランド歌唱) マリヤ・モッテンソン
vol.95 2019 1/24 [木]	©Jeremy Enlow The Cliburn	ヴァン・クライバーンの覇者、来日 ピアノ ソヌ・イエゴン
vol.96 2019 2/15 [金]	©大杉集平	17歳でモントリオールを制したホープ ヴァイオリン 辻 彩奈

19~6/3 [土]~[日]	第69回 みえ県展 9:30~17:00(最終日は9:30~15:00まで) ※月曜休館 一般200円(5月27日は入場無料)、学生無料 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	主催 1・2 ギャラリー他
20 [日]	第22回 フレンドシップ・コンサート・イン・プラス The 22nd friendship concert in brass 13:30開演(13:00開場) 全席自由 500円(当日700円) 津商業高校 059-227-5320(宇佐見)	中 ホール
22 [火]	綾小路きみまろ 笑撃ライブ2018 in三重 14:00開演(13:00開場) 全席指定 S席5,500円、A席5,000円 鶴岡興業(株) 052-221-1166	復 大 ホール
23 [水]	第41回 全日本おかあさんコーラス三重県大会 10:00開演(9:30開場) 入場無料 三重県おかあさんコーラス連盟 090-2684-1665(藤堂)	中 ホール
27 [日]	第24回 みえ県民文化祭 総合フェスティバル 10:00~16:30予定 入場無料 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	主催 大 ホール他
29 [火]	第342回例会 劇団民藝公演「大正の肖像画」 18:30開演(18:00開場) 会員制 津演劇鑑賞会 059-228-9523	復 中 ホール
29 [火]	平成30年度 雇用主会議(学卒求人説明会) 13:30開演(13:00開場) 入場無料 津公共職業安定所 059-228-9161	小 ホール

9・10 [土]・[日]	プレサマーコンサート [9日] 15:30開演(15:00開場) [10日] 13:30開演(13:00開場) 全席自由 300円(当日500円) ※当日券は販売状況により販売しない可能性があります 三重県立白子高等学校吹奏楽部 059-386-0017(吹奏楽部顧問)	中 ホール
10 [日]	第58回 三重県合唱祭 10:10開演(9:40開場) 予定 入場無料 三重県合唱連盟 miechorus@yahoo.co.jp(メールのみ)	大 ホール
10 [日]	親睦ダンスパーティ 13:00~16:00 参加費 1,000円 サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	1 ギャラリー
12 [火]	JUJU HALL TOUR 2018「I」 18:30開演(17:30開場) 全席指定 8,000円 サンデーフォークプロモーション 052-320-9100	復 大 ホール
14 [木]	ワンコインコンサートvol.88 ピアノ 三浦友理枝 11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円(チケットレス) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	往復 主催 大 ホール
21 [木]	スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団 18:30開演(18:00開場) 全席指定 S席8,000円、A席6,500円、B席5,000円、C席3,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	往復 主催 大 ホール
23 [土]	アレグリア フラメンコ期末公演 18:00開演(17:30開場) 全席自由 3,000円(当日3,500円) アレグリア 0598-56-9669	小 ホール
23 [土]	第37回 真宗公開講座 14:00開演(13:30開場) 全席自由 500円 真宗大谷派 桑名別院 0594-22-0652	多目的 ホール
24 [日]	三重フィルハーモニー交響楽団 第47回定期演奏会 フランス音楽への招待Ⅳ「火の鳥」と「魔法使いの弟子」などの名曲を 14:00開演(13:30開場) 指定席1,500円、自由席1,000円 ※未就学児入場不可 三重フィルハーモニー交響楽団 059-230-2133(森本)	大 ホール
24 [日]	平成30年度「交通安全大会」 ~交通安全の集い~表彰式典~ 13:30開演(13:00開場) 予定 入場無料 津地区交通安全協会 059-227-5550	多目的 ホール
27 [水]	山内恵介 熱唱ライブ2018 13:00開演(12:30開場) 全席指定 6,000円 チケットシティ 052-269-2700	復 大 ホール
30 [土]	ふれあいコンサート2018 詳細未定 入場無料 ※未就学児入場不可 自衛隊三重地方協力本部 広報班 059-225-0531	大 ホール

6月のイベント情報

2 [土]	西川流鯉風派日本舞踊「第34回 垂季の会」 12:30開演(12:00開場) 入場無料 ※一部指定席 垂季の会 059-294-7055	中 ホール
2 [土]	フレんてまつり2018 with イザ!カエルキャラバン! 10:00~15:30 入場無料(物販等一部有料) 三重県男女共同参画センター「フレんてみえ」 059-233-1130	主催 多目的 ホール他
3 [日]	よしもと新喜劇&バラエティショー 詳細未定 鶴岡興業 052-221-1166(平日10:00~18:00) 主催:(株)ZTV	復 大 ホール
8~10 [金]~[日]	建築家展 ~週末はASJのイベントに行こう~ 10:00~17:00 入場無料 上村工建 0120-72-3159(前田)	2 ギャラリー

●学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 ●託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3ヶ月から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。 ●クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。発売の場合は販売いたします。) ●ワンコインコンサート
 往…開演35分前に津駅西口発の臨時バス運行 復…終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 問…問い合わせ先 ●そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105

最新のイベント情報はホームページをご覧ください。

施設利用サービスセンターからのお知らせ
貸館利用者様向けサービス

吊看板 垂れ幕 屋外用案内看板 など

看板の作成 承ります!

~安心料金! 設置作業、撤去処分までおまかせ!~

催し物で使用する看板を施設利用サービスセンターにて**作成~設置~撤去**まで行います!

大・中ホール 吊看板	29,000円
小・多目的ホール吊看板	19,000円
ホール 垂れ幕	9,000円
屋外用案内看板	2,500円

(1枚あたり)

お申込み締切 ご利用日**14日前**まで

※ホール、会議室、ギャラリー等ほぼすべての施設に対応しています。
※設置・撤去は一部の看板を除きます。

三重県総合文化センター 施設利用サービスセンター tel.059-233-1118

春のそいぼに行こうよ!

こいのぼりがいっぱい!!

おさんぼマップでクイズに挑戦!

館内にある「おさんぼマップ」を見ながら、そうぶんとお隣の三重県総合博物館MieMu(みえむ)をおさんぼしよう。ミッションをクリアしてそうぶんのインフォメーションに行くくと、プレゼントがもらえるよ!

※休館日はクイズもお休みです。
※プレゼントは小学生以下のお子さまに限りです。

ご家庭に眠っている「こいのぼり」はありますか?

こいのぼりの仲間募集中!

三重県総合文化センターで泳ぐ150匹を超えるこいのぼりたちは、全て県内外の皆さまからのご厚意で提供していただいたものです。そうぶんでは、年間を通じていつでも「こいのぼり」の新しい仲間を募集しています。提供いただいた「こいのぼり」は、ボランティアと職員で絡まりを防ぐための加工や修理をしながら大切に使用させていただきます。

※こいのぼりの家族がそろっていないでも大丈夫です。
※スペースの都合ですぐに撮影できない場合は、今後のために保管させていただきますのでご了承ください。

こいのぼりが泳ぐ期間
4/13[金]~5/6[日]
休館日も泳いでるよ。

総文主催の事業を報告します

よもしぼ **そうぶんの竹あかり** 開催期間:2017年11月22日~12月3日
場所:三重県男女共同参画センター「フレんてみえ」裏日本庭園

開催期間中、のべ4,000人を超える来場者があった「そうぶんの竹あかり」。

点々と灯る光を頼りに暗く細い道を進んだ先に広がるのは、紅く色づいた紅葉と精巧な細工の竹で作られたダイナミックな光のオブジェ。思わず「わぁ…」と漏れる声が続々と聞こえてきます。

「そうぶんにこんな場所があったんだ」とご来場いただいた殆どの方が思われたかもしれませんね。そうぶんの裏には日本庭園や遊歩道があり、四季折々の自然が美しい隠れた名所です。この日本庭園を、幻想的な空間に演出して下さったのは、伊賀市在住の竹あかり作家・演出家の川瀬皓平さんです。2015年の伊勢志摩サミットでの竹あかり演出をはじめ、県内外で引っ張りだこの人気作家です。オブジェの中には、実はそうぶん産の竹で制作されたものもありました。また、20cmほどの小さな竹あかりは、夏の「M祭! 2017キッズ・アート・フェスティバル」のワークショップに参加した子どもたちが制作したものです。このように川瀬さんには、「そうぶんの竹あかり」に向けて早くから関わっていただきました。

期間中には、M-PADのリーディング公演や、新日本フィルハーモニー交響楽団の弦楽四重奏ミニコンサート、お茶処「なごみ」の夜営業など、そうぶんの夜を楽しむ様々なイベントも開催しました。「そうぶんの竹あかり」は2018年も開催予定です。「MNEWS」でもまたお知らせします。



4月～6月の主催事業ピックアップ

4/7 [土] 小ホール 往復

穂吉敏子ジャズピアノコンサート

18:30開演(18:00開場)
全席指定 一般4,000円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122

渡米62年、世界が認めるジャズ界のレジェンド穂吉敏子が2年ぶりの来日公演。
キャリア70年を超える彼女の代名詞ともいえる名曲を厳選した最新アルバム「マイ・ロング・イエロー・ロード」がリリースされました。ジャズ・シーンで一世を風靡した伝説の演奏をお見逃しなく。



4/28 [土] 視聴覚室

講座ボランティア企画 名盤を聴く 第66回 クラウド・アラウ特集

～正当なドイツ音楽を継承した南米生れのピアノの巨匠

13:30～15:30(13:00開場) 入場無料
講師: 梶吉宏(三重県文化会館館長) 事前申込制・先着順
申込方法: 電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
三重県生涯学習センター 059-233-1151

三重県文化会館の梶館長の解説でクラシック音楽の名盤を鑑賞する人気シリーズ。アラウの遺した豊かな音色と聴く者を魅了した風格のある名演奏を、梶館長のガイドでじっくり味わいましょう。



5/4 [金・祝] 小ホール

三重のまなび2018 楽楽浪曲塾

～浪曲の世界へようこそ～
13:30～15:30(13:00開場) 料金:500円
定員:200名 出演:春野恵子(浪曲師)ほか
事前申込制・先着順
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
三重県生涯学習センター 059-233-1151

浪曲のおもしろさ、素晴らしさを、かつては、『進め! 電波少年』のケイコ先生で知られた浪曲師、春野恵子さんが、楽しくレクチャーいたします。鈴鹿市出身の若手浪曲師・真山隼人さんも登場します。



5/9.16.23.30.6/6 [水] セミナー室A

平成30年度 女性のための自己主張トレーニング

10:00～12:00(9:30開場) 無料 定員:24名
講師: 具ゆり(名古屋YWCAフェミニストカウンセラー)
申込: HP、Eメール、電話、郵送、FAX、持参
対象: 全5回参加できる県内在住・在勤の女性で、自己主張トレーニングの受講が初めての方
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1131
【託児】1歳6か月～小学3年生程度(託児料子ども1人につき500円)

職場や家庭、周囲の人間関係の中で「言いたいことが言えない」と悩んでいませんか? 自分の気持ちも相手の気持ちも大切に、相手に伝える力を身につけていくトレーニングです。



5/19 [土]～6/3 [日] ※期間中の月曜休館 第1ギャラリー他

平成30年度みえ文化芸術祭 第69回 みえ県展

9:30～17:00(最終日は9:30～15:00)
一般200円(5月27日は入場無料)、学生無料
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122

●公開審査日 4月19日(木)10:30～
●ギャラリートーク
5月20日(日)10:00～12:00工芸、13:00～15:00書
5月26日(土)10:00～12:00洋画、13:00～15:00写真
5月27日(日)10:00～12:00日本画、13:00～15:00彫刻



5/27 [日] 大ホール他

第24回 みえ県民文化祭 総合フェスティバル

11:00～16:30予定 入場無料
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

文化のお祭りイベントを今年も開催。三重を代表するハイレベルの演奏・演技、元気いっぱい吹奏楽、伝統芸能や生活文化の体験などさまざまなプログラムをお楽しみください。祝祭広場では、ご当地グルメや高校生による生産物も販売いたします。



6/2 [土] 多目的ホール他

フレンテまつり2018 with イザ!カエルキャラバン!

10:00～15:30
無料(物販等一部有料)
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
059-233-1130
【託児】3か月～小学3年生程度
(託児料子ども1人につき1,000円)

フレンテみえ登録団体の展示や活動発表に加え、楽しく防災と男女共同参画について学べる体験ワークショップを開催! 家族みなさんでお越しください。



6/17 [日] 生涯学習棟3階 みるシル

皇學館大学・玉城町連携事業 現代に蘇る「玄甲舎」～その歴史的価値と利活用～

13:30～15:00(13:00開場) 入場無料 定員:100名
講師: 池山敦(皇學館大学教育開発センター助教)
事前申込制・先着順 申込方法: 電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
三重県生涯学習センター 059-233-1151

田丸城主久野丹波守の家老で、畿内の茶人三傑の一人とうたわれた金森得水。得水によって設計・建築された茶室と居宅を兼ねた数寄屋造りの別邸が「玄甲舎」です。その「玄甲舎」の歴史的背景と、まちづくりとしての利活用について考えていきます。



6/21 [木] 大ホール 往復

スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団

18:30開演(18:00開場)
全席指定 S席8,000円、A席6,500円、B席5,000円、C席3,000円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122

指揮: ダニエル・ライスキ
ピアノ: アンナ・ヴィニツカヤ
オール・チャイコフスキープログラム
ボロネーズ「エフゲニー・オネーギン」より
ピアノ協奏曲第1番
交響曲第6番「悲愴」



6/23 [土] 視聴覚室

三重のまなび2018 まなびいすとセミナー ふるさと三重が生んだ写真師 田本研造、堀江敏次郎を語る

写真師たちが見たNIPPON ～幕末から明治初期まで～
13:30～16:00(13:00開場) 入場無料 定員:140名
コーディネーター: 松原豊(写真家)ほか 事前申込制・先着順
申込方法: 電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
三重県生涯学習センター 059-233-1151

「日本の写真の祖」といわれる上野彦馬とともに、同じ時代を生きた写真師が三重県から二人も輩出されていることはあまり知られていません。三重が生んだ写真師たちにスポットを当て、幕末・明治期の日本や三重の姿を現代の写真家、専門家が語り合います。



あなたらしく生きるために... 相談無料・秘密厳守

フレンテみえ相談室のご案内 フレンテみえ相談室では、男女がともに自分らしく生きていくために、さまざまな悩みについて相談をお受けします。

女性の相談員による 女性のための電話相談 tel059-233-1133 (直通)	男性の相談員による 男性のための電話相談 tel059-233-1134 (直通)
相談時間 曜日 月 火 水 木 金 土 日	第1木曜日 17:00～19:00
【朝】 9:00～12:00	● ● ● ● ● ● ●
【昼】 13:00～15:30	● ● ● ● ● ● ●
【夜】 17:00～19:00	● ● ● ● ● ● ●
※祝日の場合【朝】・【昼】相談あり(翌平日は休館日)	● ● ● ● ● ● ●

女性の相談員による女性のための面接相談 完全予約制
女性の弁護士による女性のための法律相談 完全予約制
第1・3土曜日 13:30～16:30 ※第3土曜日は託児あり

毎年5月17日は「多様な性にYESの日」です
LGBT電話相談 tel059-233-1134 (直通)
第3金曜日 13:00～19:00

こんなことで悩んだら...
こころの性とからだの性が一致せず悩んでいる
同性が好きなおことを打ち明けづらい
自分の性別がはっきりとわからない
ご本人だけでなく、周囲の人からの相談もお受けします

チケット発売日情報 ※掲載している催し物は3月1日時点の内容です。日時・内容が変更される場合があります。また本紙発行時点でチケットが完売の場合もございます。ご了承ください。

<p>7/20 [金] 中ホール 往復</p> <p>二兎社公演42 『ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ』 19:00開演 全席指定 S席4,500円、A席3,500円</p> <p>シアターメイツ優先予約 4/26 [木]～ 一般発売 4/29 [日]～</p>	<p>9/7 [金] 中ホール</p> <p>松竹大歌舞伎 昼夜2回公演 全席指定 S席7,000円、A席6,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約 5/31 [木]～ 一般発売 6/3 [日]～</p>	<p>8/29 [水] 大ホール</p> <p>習志野高校吹奏楽部 三重特別演奏会(2回公演) ①12:30開演 ②17:30開演 全席指定 一般1,500円、学生(高校生以下)500円</p> <p>シアターメイツ優先予約 6/7 [木]～ 一般発売 6/17 [日]～</p>	<p>10/11 [木] 大ホール 往復</p> <p>ブルガリア国立歌劇場 オペラ「トゥーランドット」 18:30開演 全席指定 S席13,000円、A席10,000円、B席7,500円、C席5,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約 6/21 [木]～ 一般発売 6/24 [日]～</p>
--	--	--	---

●学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 ●託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3ヶ月から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。 ●クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発行いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。)

往...開演35分前に津駅西口発の臨時バス運行 往...終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 図...問い合わせ先

●そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105

KYB カヤバ システム マシナリー株式会社

舞台機構 制震・免震装置

永年に亘って蓄積してきたハイテク総合技術で新しい劇場創りに貢献しています。 建物地震から守り、また風等による不快な揺れを取り除き、快適な居住性を確保します。

吊物機構 床機構 制震ブレース オイルダンパー
静音型ウインチ スライフト

ビル基礎免震 オイルダンパー

営業統轄部 本社 〒105-0012 東京都港区芝大門2-5-5 住友不動産芝大門ビル
ホームページ http://www.kyb-ksm.co.jp TEL:03-5733-9443 FAX:03-5733-9506

国際警備保障株式会社

国際警備保障は、「やすらぎ社会創造企業」をめざす総合セキュリティ企業です。

家族の笑顔と快適を守る。 Home Security Anytime ホームセキュリティ 安心ing

緊急通報システム コールズ

オンラインネットワーク 異常発生
緊急通報 協力員・近隣者に 消防署・迅速機関に

①もしもの時、緊急ボタンで三重コールセンターへ通報。
②通報を受けたセンターは、音声にて状況確認します。
③状況に応じ、協力員・消防署等及び緊急連絡先に通報します。

国際警備保障株式会社 三重支店
津市栄町2丁目18-2 きりん第7ビル2F
http://www.kokusaikeibihosh.co.jp TEL059-224-9000代 FAX059-224-0584

Orchestrating a brighter world

NEC

http://jpn.nec.com/

三重で生まれて、地元と歩む。 岡三証券

岡三証券 津支店
津市中央5-20
☎059-226-1511
インターネットホームページ
http://www.okasan.co.jp/

がんばる企業を応援します。 三重県信用保証協会

本店 059-229-6021 (代表)
四日市支店 059-353-9161 (代表)
http://www.cgc-mie.or.jp/

総合環境管理 コンサルタント活動

TEMCO Total Environment Management Consultant

株式会社 ダイケンビルサービス
名古屋支店 三重営業所
〒514-0006 三重県津市広明町112番地5(第三いけだビル)
TEL(059)224-9590 FAX(059)224-9485



田中綾乃

三重大学人文学部准教授

名古屋生まれ。東京女子大学文学部哲学専攻卒業。同大学院博士課程修了(人間文化科学博士)。専門は哲学、演劇論。18世紀のドイツの哲学者カントの哲学研究を行う一方、演劇評論家として新聞や雑誌、パンフレット等に劇評や解説を寄稿。

Performing arts vol.4

vol.4

Ayano Tanaka

人間讃歌の狂言

Classic music vol.8 最終回

最終回

Mai Takano

映画音楽とクラシック

——クラシック音楽の「現在」と「未来」はどこに？

高野麻衣

コラムニスト
音楽ジャーナリスト



上智大学文学部卒業(西洋文化史)。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭に出会い、音楽業界へ。編集者を経て現職。おもなフィールドはクラシック音楽と美術、マンガ等の文化史。著書に「マンガと音楽の甘い関係」(太田出版)など。

このコラムでは、これまで「歌舞伎」や「文楽」といった日本の伝統芸能を取り上げてきましたが、今回は「狂言」についてご紹介しましょう。もともと「たわむれ」や「たわごと」を意味する「狂言」が「笑いの芸」として成立したのは室町時代の頃。「能狂言」といわれるように、「能」と一緒に語られる「狂言」ですが、その性格は随分と異なります。

観阿弥・世阿弥親子によって洗練された「能」は、笑いの要素を排した重厚な歌舞劇ですが、「狂言」は滑稽な要素を中心にした軽妙な対話劇です。実は、「能」も「狂言」も奈良時代に中国から伝来した「散楽」に由来します。「散楽」は、軽業や曲芸、物真似などの大衆的な雑芸ですが、平安時代になると、日本古来の民俗芸と融合して「猿楽」と呼ばれるようになります。後にこの「猿楽」が「能」と「狂言」に分化するのですが、幽玄な世界の「能」に対して、「狂言」は「散楽」本来の物真似やおかしみを継承するものです。そもそも芸能の本質は、「真似る」というところから発展してきましたが、その意味では、「狂言」が一番原始的な芸能ともいえるでしょう。

狂言師の野村萬斎は、「狂言の核心とは“この辺りの者でござる”という言葉に凝縮されている」と述べています。「狂言」の物語のほとんどは、冒頭で登場人物が現れると“この辺りの者でござる”という台詞から始まります。このことは、「狂言」の主人公が歴史上のヒーローや権力者ではなく、まさに今、この辺りに住む普通の人々が主人公として描かれていることを意味します。たとえば、物覚えの悪い大名や酒好きの家来、そそっかしい婿など、私たちの日常生活にもいそうなキャラクターを中心にして、時に滑稽に、時に風刺的な笑いを交えながら喜劇として展開するのです。萬斎師の言葉を借りれば、「狂言」とは「人間讃歌の演劇」なのです。

室町時代から現代に続く「狂言」ですが、現在、古典作品だけでも約260曲あり、新作も次々と創られています。「能狂言」より後の時代に登場した「歌舞伎」には、能舞台を模した舞台装置で、「能」や「狂言」の演目を題材にした「松羽目物」と呼ばれる作品が明治時代以降に盛んに創られました。歌舞伎舞踊劇としても人気の『棒縛り』や『身替座禅』、『釣女』などは「狂言」の作品で、「狂言」のオリジナルを知っていると「歌舞伎」を観る時の楽しみ方も違います。また、先に「歌舞伎」を観てから「能狂言」を観るのもいいでしょう。

日本の古典演劇は、ジャンルは違えども、互いに影響を与えながら継続して、発展してきました。また、様式性や型を重んじるという点では、どの芸能にも共通しています。その中でもとくに「狂言」の所作は、とてもシンプルなので、だからこ子どもから大人まで誰もが楽しめる「笑いの」作品になっているのでしょう。気楽に親しみやすい作品が多いので、古典芸能の入門としてもお薦めします。



狂言「ぬけがら」太郎冠者・野村万作 (撮影:政川慎治)



狂言「栗焼」太郎冠者 野村万作 (撮影:政川慎治)

イベントインフォメーション

4/30 [月・休] 中ホール 復

三重のまなび2018

狂言師・野村万作 講演会 「人間国宝が語る86歳の狂言道」

13:30開講(12:45開場) 事前申込制・先着順
全席自由 500円 ※当日お支払いください。 三重県生涯学習センター 059-233-1151

特集1 狂言師 野村万作インタビュー(P2)

あなたの人生に、影響を与えた音楽家はいますか？

この連載の1回目では、「小学1年生のクリスマスの朝、マンガで出会ったモーツァルト」のエピソードを披露しました。もうひとり挙げていいなら、それはアラン・メンケンです。彼は1988年の『リトル・マーメイド』以降、『美女と野獣』や『塔の上のラプンツェル』まで「意志あるプリンセス」の音楽を手がける魔法使い。そのメロディの断片を心に浮かべただけで、少女時代の共感がよみがえり、涙が出ます。

最近のクラシック界の新しいムーヴメントとして、そんなメンケンや久石譲のような「映画音楽の巨匠」の音楽を、大スクリーン映像とともに楽しむ「シネマ・コンサート」がありますよね。これって「新しい」と見せかけて完全に「先祖返り」——そうお気づきの方もいらっしゃるはず。映画に音声がついたのは1920年代のこと。それ以前のサイレント映画時代には、オーケストラやピアノの生演奏が「映画音楽」だったわけですから。そして、そうした音楽を手がけたのは、当時現役だったいわゆる「クラシック作曲家」でした。

たとえば世界初の映画音楽は、1908年、サン＝サーンスが『ギーズ公の暗殺』のために作曲したスコアだと言われています。ほかにもサティやショスタコーヴィチ、ジャン・コクトー版の『美女と野獣』や『ローマの休日』を手がけた「フランス六人組」のオーリックなどが有名です。

さらに1930年代、ウィーンからアメリカへと亡命した多くのユダヤ系の作曲家たちは、当時隆盛していたハリウッドの映画産業に目をつけました。彼らは、映画音楽がオペラの延長上にあると考え、クラシックの手法をそのまま映画音楽に持ち込んだのです。代表的なのがコルンゴルト。彼は、現代のシンフォニック・スコアの偉大な「教師」であり、その最も有名な「生徒」が『スター・ウォーズ』や『ハリー・ポッター』のジョン・ウィリアムズだと言われています。「六人組」のミヨーも70年代までカリフォルニアの音楽院に在職し、その教え子のひとりには「雨にぬれても」や「ニューヨーク・シティ・セレナーデ」で有名なパート・バカラックでした。

大好きなバラックの甘いポップスとクラシック音楽が、親子のような関係にあると知ったときの喜びを、いまでも思い出します。メンケンのメロディもまた、クラシックの歴史の先端にあるのでしょう。クラシック音楽の遺伝子は映画音楽やミュージカル、ポップスやロックのなかに——私たちの隣でしっかりと生き続けているのです。

2年間執筆させていただいたコラムのなかで、みなさんにお伝えしたかったことが、ここにあります。クラシック音楽は博物館で埃をかぶった「過去の遺物」ではないということ。それらはいつも隣にあるということ。そして「未来のクラシック」は、私たちが「現在」と向き合うことで生まれていくのだということ。

またお会いできる機会があれば、みなさんと、そんな未来の話もしてみたいと願っています。ご愛読、本当にありがとうございました。



ディズニー映画にも影響を与えた『美女と野獣』のポスター。下段中央には作曲家オーリックの名も。

おいしさ直便利!
全国発送を承ります

Meat Shop Asahiya

ISO9001:2008 認証取得

名産 松阪肉

朝日屋

〒514-0031 三重県津市北丸之内20
TEL(代)059-226-2983
FAX059-225-2983
営業時間 AM9:00~PM6:00 ※水曜定休
http://www.asahiya.net/

三重県職員信用組合

三重県津市広明町13番地
TEL059-228-5205 FAX059-228-3700

三職信 検索

めまぐるしく 移り変わる世の中...
でも、制服の良さは変わりません。

■ 学校制服 ■ 会社制服

ユニフォームセンター
アスカフ 荒川制服株式会社

本店 津市万町174番地/塔子橋南詰
TEL059-228-3059/FAX059-224-1729
毎週月曜定休日 営業時間AM9:30~PM6:30

鈴鹿店 鈴鹿市白子4丁目15-20/ヒオキビル2F
TEL059-367-7501/FAX059-367-7502
毎週月曜定休日 営業時間AM10:00~PM6:00

工作機械の製造

株式会社 光機械製作所
創業70周年記念パーティー

レーザーによる超微細加工

切削工具の製造

2007年 経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」を受賞
2014年 経済産業省より「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞
2014年 アジア太平洋経済協力会議より「APEC女性活躍推進企業50選」に選定
2016年 経済産業省より「はばたく中小企業・小規模事業者300社」を受賞

株式会社 光機械製作所
〒514-0112 津市一身田中野8-1 Tel:059-227-5511 Fax:059-227-5514
http://www.hikarikikai.co.jp

ZTVでCM 始めませんか?

ここが魅力!

- ① リピート放送で繰り返しPR!
- ② リーズナブル
- ③ 地元密着で視聴者の反応が速い!

ZTVでは三重県だけでなく、滋賀県・和歌山県にもPRが可能です。

放送エリアも選べる
料金いろいろ

詳しくは
お問い合わせください

お問い合わせ 0120-222-505

株式会社 ZTV

警備 清掃 設備 サービス

ISO9001・ISO14001 認証取得
プライバシーマーク 認証取得

企業の安全と快適な環境作りに奉仕する

近畿ビルサービス株式会社

三重営業所 〒514-0035 三重県津市西丸之内24番14号
電話(059)269-7000 FAX(059)269-7001
http://www.kinkibiru.co.jp

本社・営業所 富田林、大阪、堺、河内長野、狭山、和泉、和歌山、橋本、奈良

三重県立図書館

津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)
TEL059-233-1180 FAX059-233-1190 開館時間:9時~19時
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)、月末(土日祝日の場合は、直前の平日)

おすすめ本の紹介 MNEWS121号の特集、野村万作さん・山崎ナオコーラさんに関する本を集めました！ こちらの本はすべて三重県立図書館にありますのでぜひご覧ください！



狂言師
野村万作

人間国宝 野村万作の世界

林和利/著 明治書院
出版年:2010年10月 請求記号:773.9/1

人間国宝に認定されている狂言師・野村万作さん。その芸と人生を、3歳の初舞台から振り返り、能狂言の研究者がまとめた本です。また、息子・萬斎への思い、狂言の未来についても語ります。2008年9月と2010年6月に行われた講演の様子が収録されています。



笑いの芸術・狂言

ハースト婦人画報社
出版年:1998年11月 請求記号:773.9/7

狂言は、室町時代から庶民の芸能として親しまれていますが、現代ではあまりなじみがない方もいるかもしれません。そんなあなたへ、狂言の入門書です。「狂言の笑い」「歴史」「代表的な出し物」などについて、豊富な写真とわかりやすい解説で楽しみながら学べます。



作家
山崎ナオコーラ

美しい距離 (「文學界」2016年3月号収録)

山崎ナオコーラ/著
文藝春秋

入院中の余命少ない40代の妻を介護する夫。淡々と流れる入院介護の日々、そして妻の死と葬儀。これら時間の流れとともに感じる妻への思いと距離感が「重くなく」夫目線で描かれています。平成28年上期芥川賞候補作品。



かわいいおとうさん

山崎ナオコーラ 文・ささめやゆき 絵 こくま社
出版年:2017年10月 請求記号:E/4

山崎さん初の絵本です。「かわいい」という言葉から連想されるのは、「子ども」や「どうぶつ」が定番かと思いますが、まさかの「おとうさん」です。内容は父と子の何気ない日常を描いています。こんな風に子どもから思ってもらえるおとうさんになりたいなと、おとうさんである私は思うのでした。

三重県総合博物館 (MieMu:みえむ)

津市一身田上津部田3060 TEL059-228-2283 FAX059-229-8310
開場時間:平日 9時~17時、土・日・祝日 9時~19時(最終入場は、閉場30分前まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)

〈企画展〉知ってる貝! 見てみる貝! 貝のヒミツ

会 期:2018年4月14日(土)~6月17日(日) 主催:三重県総合博物館
観覧料:一般800円(640円)、学生480円(380円)、高校生以下無料 ※()内は前売り及び20名以上の団体料金

世界には、たくさんの種類の貝が生息しています。宝石のように美しい色彩や彫刻をもつ種、肉眼では確認できないような小さな種、硬い貝殻を持たない種、陸上にすむ種など、その形態や生態はバラエティーに富んでいます。

貝は、食べるだけでなく、日常道具や美しさを活かした装飾品のほか、あそびの道具としても利用されてきました。また、三重県は真珠やアワビ、カキ、ハマグリなど全国有数の生産地でもあり、私たちに豊かな恵みを与えてくれています。

今回は、暮らしの中にある貝にスポットをあて、貝の多様性、利用する人々の知恵、背景となる貝のすがたや生態などに関わる展示を行い、思わずだれかに話したくなる貝の世界を紹介します。



中野恒夫コレクション(中野拓也氏所蔵)

三重県立美術館

津市大谷町11 TEL059-227-2100 FAX059-223-0570
開館時間:9時30分~17時(入館は、16時30分まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)

ぼくとわたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展

会 期:2018年3月17日(土)~6月10日(日)
観覧料:一般900(700)円、学生700(500)円、高校生以下無料 ※()内は前売り及び20名以上の団体料金

亀山達矢と中川敦子による「tupera tupera」は、2002年に活動を始めたユニットです。はじめは布雑貨のアーティストとして活動していましたが、飾れるジャバラ絵本「木がずらり」の制作をきっかけに、絵本の世界で活躍の場を広げていきます。彼らのはじめての大規模巡回展となる本展では、子どもから大人まで、国境を越えて愛読される絵本「しろくまのパンツ」や「パンダ銭湯」の原画をはじめ、初期の絵本原画や、工作、イラストレーション等、約300点の作品をご紹介します。会期中5月4日には作家によるワークショップ、5月6日には絵本トーク(どちらも要事前申込)を開催。ギャラリー・トークや託児サービス、図書館にて関連イベントも行います。



「しろくまのパンツ」(2012年、プロンス新社)
©tupera tupera

<p>事業協賛会員</p> <ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人岡田文化財団 百五銀行 FRONTIER BANKING 第三銀行グループ 三重県協同組合連絡協議会 (JA・漁協・労協・中小企業団体中央会) 	<p>一般協賛会員</p> <ul style="list-style-type: none"> モクモク手づくりファーム 三重県舞台管理事業協同組合 カヤバスシステムマシナリー株式会社 住友電装 国際警備保障株式会社 NEC 三重テレビ放送 三重電業株式会社 チカガツ 	<p>株式会社 宮崎本店</p> <p>中部電力株式会社</p> <p>三重銀行</p> <p>昭永工業株式会社</p> <p>岡三証券株式会社</p> <p>三重交通株式会社</p> <p>日本トランスシティ株式会社</p> <p>東芝エルティールエンジニアリング株式会社</p> <p>三重県信用金庫協会</p>	<p>三重県信用保証協会</p> <p>鈴鹿医療科学大学</p> <p>株式会社野田米菓</p> <p>株式会社ダイケンビルサービス</p> <p>井村屋グループ株式会社</p> <p>株式会社日硝ハイウエー</p> <p>伊藤印刷株式会社</p> <p>朝日屋</p>	<p>岩間造園株式会社</p> <p>株式会社東洋軒</p> <p>学校法人 皇學館</p> <p>三重県職員信用組合</p> <p>GE 学研エデュケーショナル</p> <p>ホテルザ・グランコート津西</p> <p>アサカフ 印刷</p> <p>レディオキューブFM三重</p> <p>株式会社光機械製作所</p>	<p>ZTV</p> <p>医療法人誠仁会 塩川病院</p> <p>有限会社江藤電設</p> <p>三菱電機プラントエンジニアリング株式会社</p> <p>コダ鑑定調査株式会社</p> <p>生活協同組合 コープみえ</p> <p>放送大学三重学習センター</p> <p>三ヤムラ</p> <p>近畿ビルサービス株式会社</p>	<p>Cotti 菜</p> <p>株式会社 鈴工</p> <p>中外医薬</p> <p>監東晋商事</p> <p>東電産株式会社</p> <p>ヤマハサウンドシステム株式会社</p> <p>社会福祉法人 洗心福祉会</p> <p>医療法人 津 健康クリニック</p> <p>赤塚植物園グループ</p>
--	--	--	---	---	--	---

花と緑のガーデンセンター

アカツカFFCパビリオン

Facebookも見てね!

株式会社 赤塚植物園

TEL 059-230-2121 OPEN 10~18時(火曜定休)

県道10号線沿い、芸濃ICより津方面へ車で約3分

にきび、肌あれに

ヨクイニンエキス配合

アップル風味 スッキリ 元気肌

セララBBドリンクライト

中外医薬 http://www.chugai-iyaku.co.jp

もっと便利に、快適に Wi-Fi スポットエリア拡大!

2018年1月より、三重県総合文化センター館内の公衆無線LANのご利用可能場所が増えました。

FREE Wi-Fi MIE

1月からの拡大エリア

- 第1・2ギャラリー
- 生涯学習センター エントランス
- 男女共同参画センター「フレんてみえ」エントランス



- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分
鉄 道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車
バ ス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分
タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分
自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※名古屋から約1時間、大阪から約1時間40分
※無料駐車場(約1,400台)があります。催しが多く開催される日は大変混み合いますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 開館時間のご案内 9:00~19:00(貸館等で使用する場合を除く)
※チケットカウンター、アートショップMikke(みつけ)、レストランRIZ CAFEは10:00~19:00、カフェコーナーは8:50~18:30、カフェレストランCotti菜(こっちな)は9:00~17:00
次号予告 6月発行「MNEWS」vol.122
リニューアル! 三重県立図書館、三重県総合博物館、三重県立美術館の情報が大幅増量!!

- 休館日のご案内 毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)
12月29日~1月3日、県立図書館のみ末日及び特別整理期間も休館
県立図書館 TEL059-233-1180 http://www.library.pref.mie.lg.jp/
 - 県立図書館休館日カレンダー(■は休館日)
- | 4月 | | | | | | | 5月 | | | | | | | 6月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |
| 29 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

三重県総合文化センター情報誌 MNEWS

Vol.121号 発行/平成30年3月(季刊)
発行元/(公財)三重県文化振興事業団
やむを得ない事情により出演者等の事業内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
●WEBサイト www.center-mie.or.jp/ はこちらからご覧いただけます。

EMニュースは次の場所で入手可能です。三重県総合文化センター館内、三重県庁・市町役場・市町図書館、三重県内公共文化施設、びあスポ・チケット発売所、三重県内道の駅、三重県内病院・歯科医院、三重県総合文化センター周辺のお店、ショッピングセンターなど。また、三重県文化会館シアターメイツ会員には無料で送付しております。詳しくはシアターメイツ事務局まで(059-233-1116) 上記以外にも、多数の企業・団体・公共施設の皆様に配布のご協力をいただいております。

MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
☎059-233-1105 FAX059-233-1106

三重県総合文化センターは、文化会館・生涯学習センター・男女共同参画センター「フレんてみえ」・県立図書館・放送大学三重学習センターから構成される複合文化施設です。